

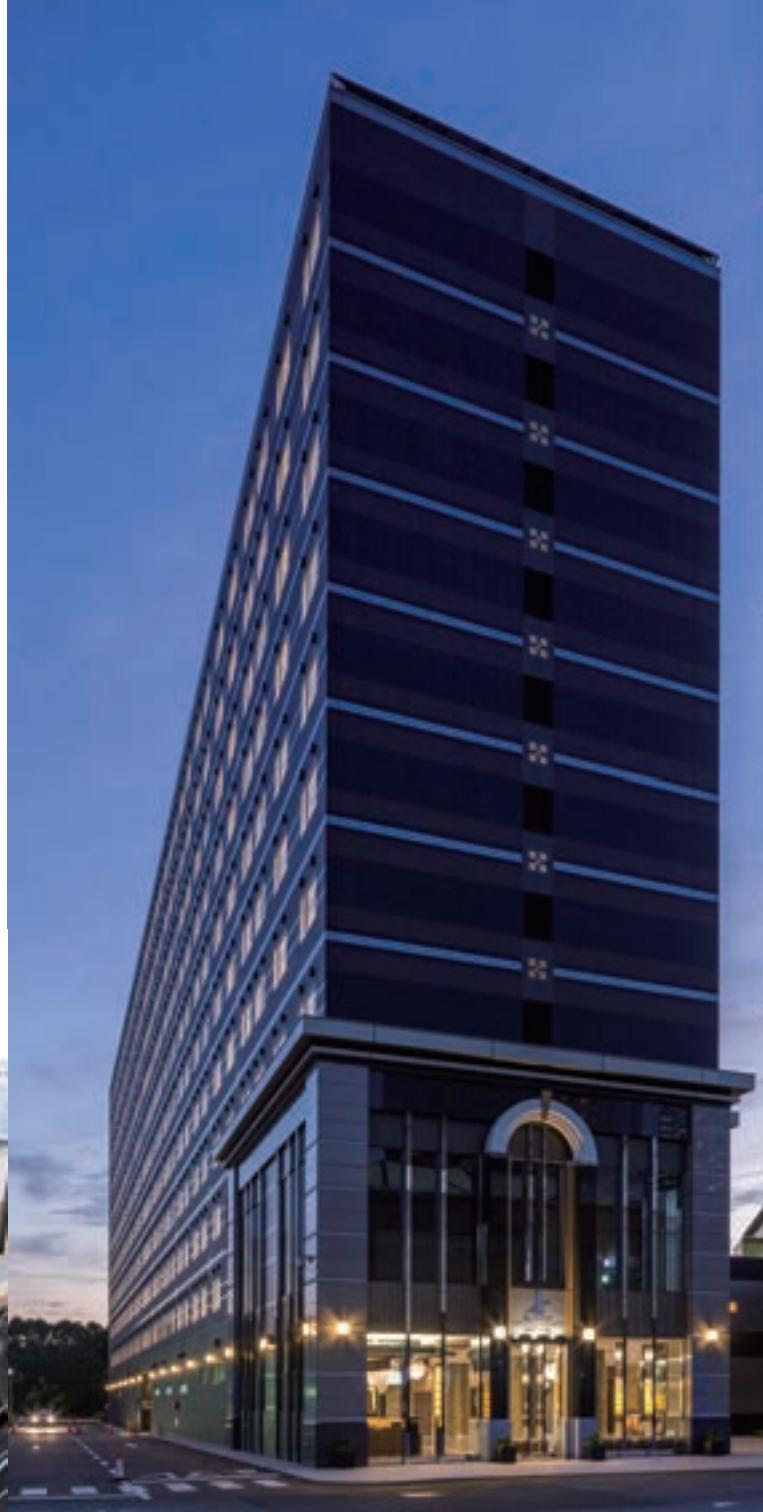
ICHIKEN

第91期 株主通信

平成28年4月1日～平成29年3月31日

株式会社 **イチケン**

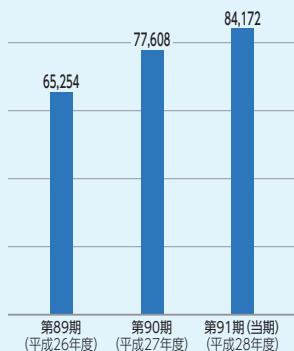
証券コード:1847



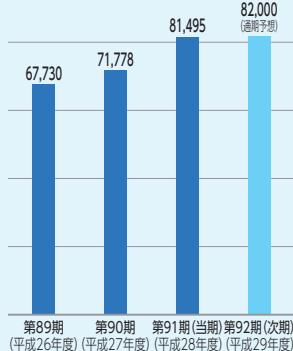
主な経営指標の推移

FINANCIAL HIGHLIGHTS

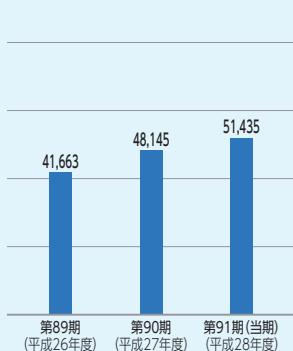
受注高 (単位: 百万円)



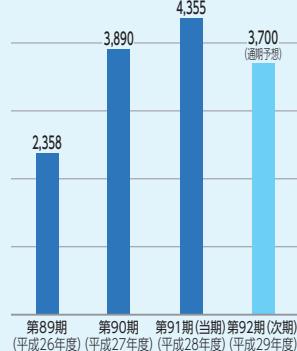
売上高 (単位: 百万円)



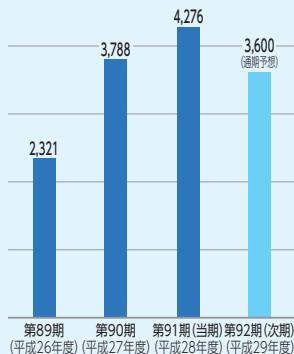
手持工事高 (単位: 百万円)



営業利益 (単位: 百万円)



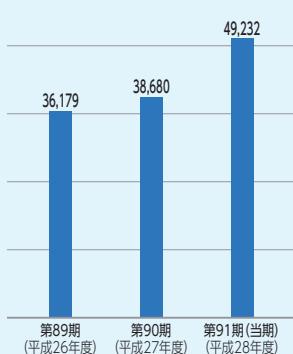
経常利益 (単位: 百万円)



当期純利益 (単位: 百万円)



総資産 (単位: 百万円)



純資産/1株当たり純資産



Point 1

商業施設に加えて、マンション、ビジネスホテル、医療・福祉施設を中心として受注が堅調に推移したことなどにより、受注高は841億7千2百万円(前期比8.5%増)となりました。

Point 2

完成工事高の増加や低採算工事の減少などにより、営業利益は43億5千5百万円(前期比12.0%増)となりました。

Point 3

当期純利益30億4千8百万円(前期比31.9%増)を計上したことにより、純資産は138億6千6百万円(前期末比25.5%増)となりました。

ごあいさつ



代表取締役社長
長谷川 博之

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
当社第91期における営業のご報告にあたり、ここに謹んでご挨拶申し上げます。
当期における建設業界を取り巻く環境は、景気の緩やかな拡大を背景に内需は底堅い動きで推移していますが、人手不足による労務費や資材・運搬費の高騰懸念を抱えています。中長期的には労働人口の減少が見込まれており、生産性を高めながら現場力を維持する経営努力が求められております。

また、将来の担い手を確保していくため、長時間労働の是正や適切な休日の確保、また社会保険への加入の徹底といった「働き方改革」が建設業界全体として取り組むべき課題となっております。

このような状況のもと当社は、限られた人材のなかで、品質と安全第一の現場管理を維持するために採算性を重視し、建設事業の軸となる商業施設やビジネスホテルのほか、マンションや保育所、医療・介護施設の受注に積極的に取り組んでまいりました。

この結果、当期の売上高及び利益ともに当初の予想を大幅に上回る結果を残すことができ、2期連続で過去最高益を更新することができました。ここ数年間の収益拡大により財務体質の強化が実現しつつある現状を踏まえ、次の飛躍に向けた積極的な取り組みを展開してまいります。

今後も株主の皆様のご期待に応えるべく、社員一同一丸となってさらに努力してまいりますので、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年6月

Q 当期の決算のポイントなどについて教えてください。

A 過去最高益を2期連続で更新しました。

当期の業績につきましては、完成工事高の増加や低採算工事の減少による利益率の改善などにより完成工事総利益が増加したため、営業利益は43億5千5百万円(前期比12.0%増)、経常利益は42億7千6百万円(前期比12.9%増)となりました。また、賃貸用不動産の減損損失が減少したことなどにより、当期純利益は30億4千8百万円(前期比31.9%増)となりました。

また、当期における財政状態は、資産合計が前期末に比

べ105億5千2百万円増加し、492億3千2百万円となりました。主な要因は、売上高の増加に伴う完成工事未収入金の増52億4千2百万円であります。

負債合計は前期末に比べ、77億3千8百万円増加し、353億6千5百万円となりました。主な要因は、工事出来高の増加に伴う支払手形の増40億6千2百万円であります。

純資産合計は、前期末に比べ28億1千4百万円増加し、138億6千6百万円となりました。

主な要因は、当期純利益の計上などに伴う利益剰余金の増27億5千8百万円であります。

以上のとおり、売上高、各利益ともに業績予想を上回る結果となり、2期連続で過去最高益を更新することができました。

Q 中期経営計画の達成状況についてお聞かせください。

A 最終年度の目標数値を前倒しで達成したため目標数値を上方修正しました。

当社は、当期において、平成28年3月に公表いたしました「中期経営計画(平成27年度～平成31年度)」の最終年度の目標数値を前倒しで達成したことから、平成29年度以降の目標数値について見直しを行いました。当社は、持続的な成長を維持していくため、平成29年度以降の3ヵ年の目標数値を上方修正し、最終年度(平成31年度)の目標数値を新たに設定しました。

Q 修正後の目標数値達成に向けた施策についてお聞かせください。

A 当初に掲げた『5つの重点施策』への取り組みを継続し、目標数値の達成を目指します。

当社は、中期経営計画の達成に向けて、重点施策として「技術提案力の強化」、「採算性を重視した取り組みを強化」、「不動産事業の活性化」、「新規事業への取り組み」、「マネジメント力の向上」の『5つの重点施策』を掲げて取り組んでまいりました。

これらの重点施策を継続するとともに、あらたに「生産性」の向上を図るための施策を加え、修正後の目標数値の達成に向けて取り組んでまいります。

“商業空間事業を通じ、快適で豊かな社会の実現を目指す”それが当社の経営理念です。より良い未来のために、常に変化する社会や顧客の求めるニーズに適応してまいります。

目標数値

■ 修正前(平成28年3月発表時の内容)

(単位：億円)

	第90期(前期) (平成27年度)		第91期(当期) (平成28年度)		第92期(次期) (平成29年度)		第93期 (平成30年度)		第94期 (平成31年度)	
	目標	利益率	目標	利益率	目標	利益率	目標	利益率	目標	利益率
売上高	710	—	720	—	730	—	750	—	800	—
営業利益	34.0	4.8%	25.0	3.5%	25.5	3.5%	26.0	3.5%	28.0	3.5%
経常利益	33.0	4.6%	24.0	3.3%	24.5	3.4%	25.0	3.3%	27.0	3.4%

■ 修正後

	第90期(前期) (平成27年度)		第91期(当期) (平成28年度)		第92期(次期) (平成29年度)		第93期 (平成30年度)		第94期 (平成31年度)	
	実績	利益率	実績	利益率	目標	利益率	目標	利益率	目標	利益率
売上高	717	—	814	—	820	—	830	—	840	—
営業利益	38.9	5.4%	43.5	5.3%	37.0	4.5%	37.0	4.5%	37.5	4.5%
経常利益	37.8	5.3%	42.7	5.2%	36.0	4.4%	36.0	4.3%	36.5	4.3%

重点施策(主要項目)

	平成27年度～28年度	平成29年度～31年度
技術提案力の強化	BIM導入準備 担当別教育実施 技術系講習会 商品開発試作	<ul style="list-style-type: none"> ● 技術への投資 (BIMの本格導入省エネ設計) ● 環境保全への取り組み ● i-Constructionへの対応
採算性と生産性を重視した 取り組みを強化	売上総利益率8%台に増加 最終年度の売上・利益目標を 前倒し達成	<ul style="list-style-type: none"> ● 施工供給能力を考慮した 採算性重視の受注活動 ● 生産性の向上 (ICTの活用等、省力化推進)
不動産事業の活性化	低採算物件の処理(減損、売却) 収益物件取得の取り組み 保有商業施設活性化着手	<ul style="list-style-type: none"> ● 多彩なアプローチ (PJファイナンス、SPC等) ● 収益物件の保有
新規事業への取り組み ～新たな成長基盤を構築～	情報収集/事例研究 海外視察 M&A(デューデリジェンス)	<ul style="list-style-type: none"> ● 新規事業の継続検討 ● 具体的案件への投資
マネジメント力の向上 (人材育成・コンプライアンス遵守 等)	教育研修(営業・技術・コンプライアンス 他) BCP認定取得 環境ISO全支店導入 ICT導入推進(基幹システムの入替、電子決裁の導入 他)	<ul style="list-style-type: none"> ● 次世代を担う人材育成 ● マネジメントシステムの定着 ● 連結決算対応

継 続 課 題

人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ・採用 ・人材育成 ・人事制度 ・ワーク・ライフ・バランス ・人材の多様化 ・人員構成 ・労務リスク 等 	企業風土・働き方改革 <ul style="list-style-type: none"> ・働きやすい職場環境 ・CSR ・企業ブランド・イメージ 等 	ICT (情報通信技術) <ul style="list-style-type: none"> ・情報系システム ・生産性の改善 ・セキュリティー対策 等
---	--	--

イチケンが創造する豊かで快適な「暮らし空間」。

商業施設

ベルクスモール浮間舟渡



東京都板橋区

竣工 平成28年12月

構造 S造 2階建

延床面積 10,480㎡

ホテル

アパホテル&リゾート〈東京ベイ幕張〉
イーストウイング



千葉県千葉市

竣工 平成28年10月

構造 S造 11階建

延床面積 11,972㎡

その一例をご紹介します。

商業施設

サミットストア王子桜田通り店



東京都北区

竣工 平成29年3月

構造 S造 3階建

延床面積 8,027㎡



マンション

サンメゾン九大学研都市エルド



福岡県福岡市

竣工 平成29年3月

構造 RC造 12階建

延床面積 11,220㎡

商業施設

ニトリ大船店



神奈川県鎌倉市

竣工 平成29年3月

構造 S造 2階建

延床面積 9,225㎡

ホテル

ホテルサンルートソプラ神戸
アネッサ



兵庫県神戸市

竣工 平成29年2月

構造 S造 10階建

延床面積 3,955㎡



中国地方の基幹都市である広島で営業活動を拡大!

A 広島営業所 新設 (広島市中区)

平成29年4月1日、中国エリアの既存顧客への営業活動の拡大と新規顧客の獲得による受注拡大を図るため、広島営業所を開設いたしました。新設されたばかりの営業所ですが、何卒、温かいご支援ご指導を賜われますようお願い申し上げます。



B 複合型新施設 メリィホスピタル・メリィデイズ 建設中 (広島市安佐南区)

低層階には地域包括ケア病棟と療養病床を有するメリィホスピタル、高層階にはサービス付き高齢者向け住宅を有するメリィデイズ。

この2つの施設が1つの場所で提供されることにより、医療と介護がこれまで以上にシームレスに連携し、迅速かつ安全、安心な医療・介護を提供できる施設となっています。



上<完成予想図>
右<建設現場空撮写真>



C カインズ広島LECT店 オープン (広島市西区)

カインズ広島LECT店が平成29年4月28日オープンいたしました。メインテーマである「知・食・住」にちなんで名づけられた広島の新しいランドマークである『LECT(レクト)』。当社は、そのLECT内に広島初出店となるカインズ広島LECT店を設計・施工しました。

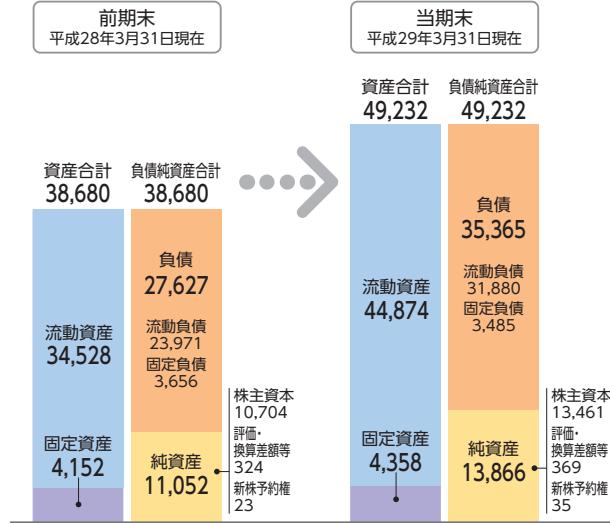


詳細な財務情報は

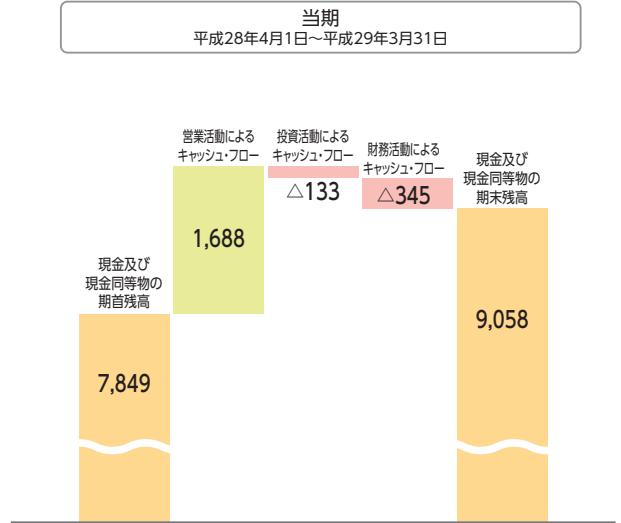
[イチケン](#) [IR情報](#)

[検索](#)

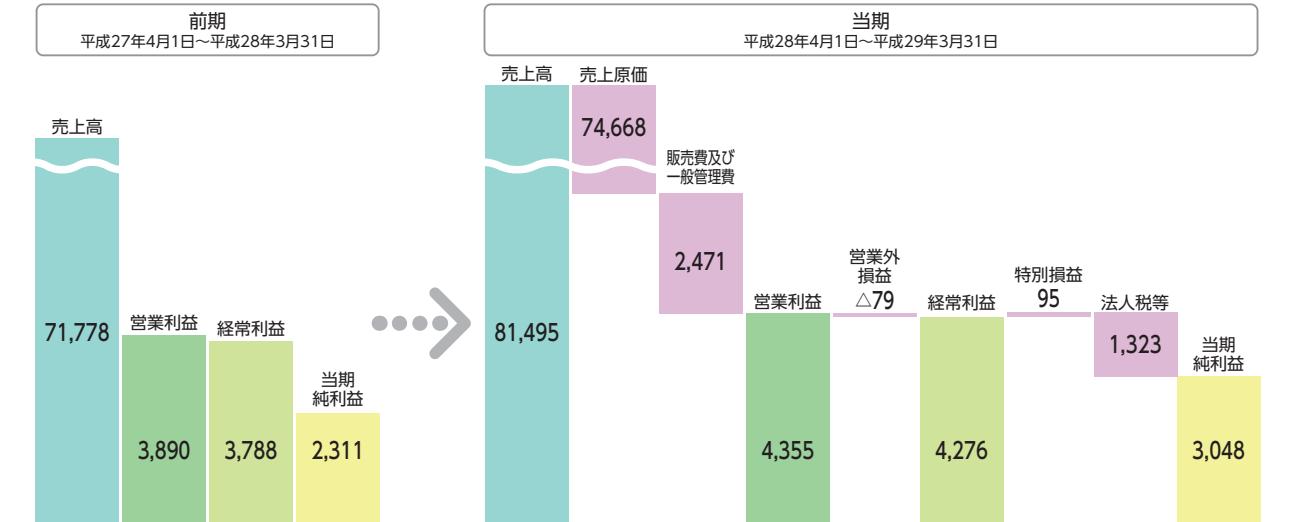
●貸借対照表の概要 (単位:百万円)



●キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位:百万円)



●損益計算書の概要 (単位:百万円)



会社概要

(平成29年3月31日現在)

商号	株式会社イチケン
創業	昭和5年6月
資本金	43億2,167万2,065円
営業種目	総合建設業、貸ビル賃貸業、住宅・商業施設ディベロッパー事業、都市環境整備事業、複合商業施設企画・設計・施工・監理、専門店舗企画・設計・施工・監理
従業員数	605名
取引銀行	三井住友銀行 三菱東京UFJ銀行 東日本銀行 他

役員

(平成29年6月28日現在)

取締役および監査役

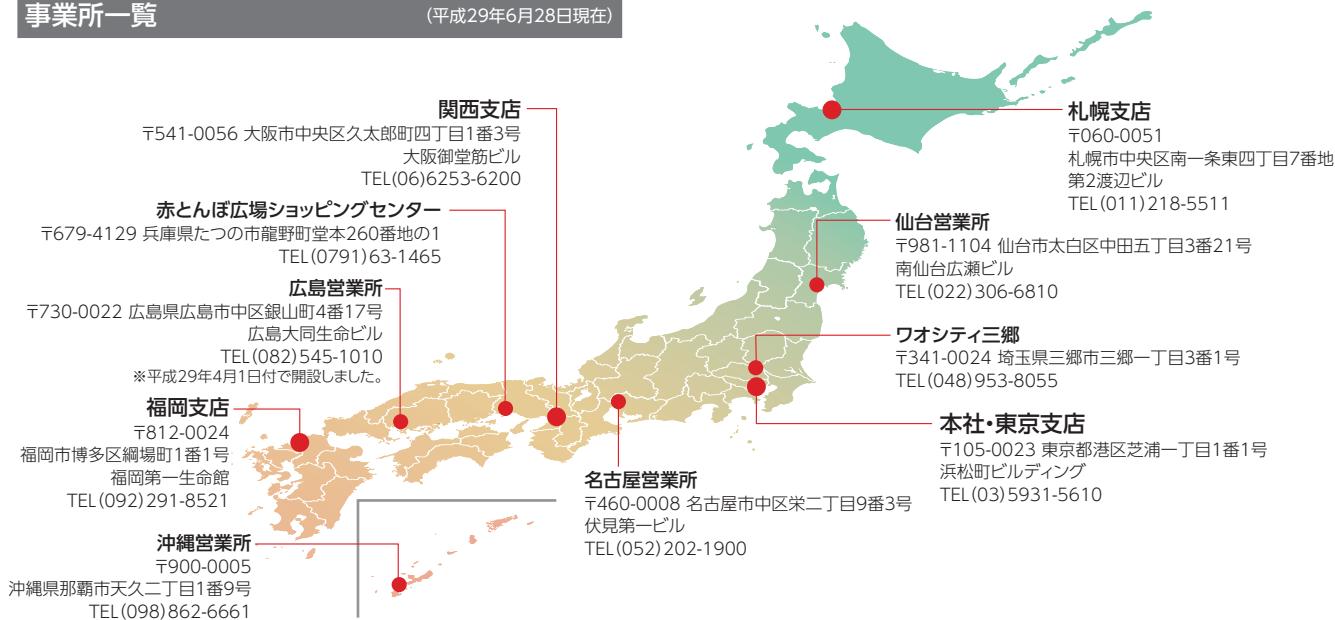
代表取締役社長	長谷川 博之	取締役(社外)	伊知地 俊人
取締役	古川 仁一	常勤監査役	渡辺 直之
取締役	吉田 稔	監査役(社外)	西村 正明
取締役	西出 英雄	監査役(社外)	吉識 至孝
取締役(社外)	藤田 進	監査役(社外)	小川 真人
取締役(社外)	武内 秀明		

執行役員

社長執行役員	長谷川 博之	執行役員	野崎 晃
専務執行役員	古川 仁一	執行役員	磯野 慶治
常務執行役員	吉田 稔	執行役員	濱野 明
常務執行役員	西出 英雄	執行役員	奥田 育久
常務執行役員	佐々 英昭	執行役員	田中 実
常務執行役員	湯ノ口 智治		

事業所一覧

(平成29年6月28日現在)



(平成29年3月31日現在)

株式の状況

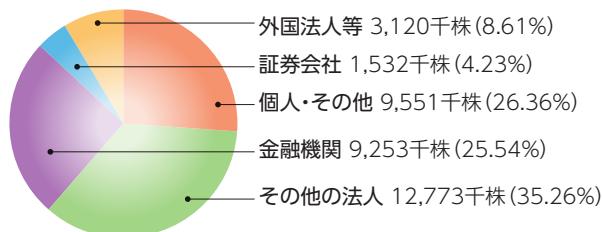
発行可能株式総数	111,200,000株
発行済株式の総数 (自己株式112,024株を含む)	36,342,000株
株主数	3,333名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社 マルハン	11,714	32.33
日本ライフ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,305	11.88
株式会社 三井住友銀行	996	2.74
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	852	2.35
全国一栄会持株会	712	1.96
株式会社 三菱東京UFJ銀行	592	1.63
株式会社 SBI証券	400	1.10
日本ライフ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	376	1.03
日本ライフ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)	374	1.03
日本ライフ・サービス信託銀行株式会社(信託口2)	305	0.84

- (注) 1. 持株数上位10名の株主について記載しております。
 2. 持株数は、1,000株未満の株式数を切り捨てて表示しております。
 3. 持株比率は、各株主の持株数(1,000株未満の持株数を含む)の自己株式を除く発行済株式の総数に対する比率を記載しており、パーセントの数値は、小数点第2位未満を切り捨てて表示しております。
 4. 全国一栄会持株会は、当社の取引先企業で構成されている持株会であります。

所有者別株式分布の状況



(注) 自己株式を除外した比率を記載しております。

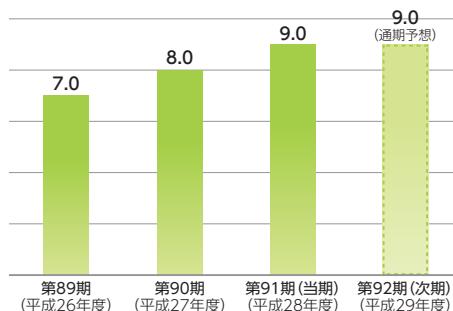
● 株主還元の様況

当期の期末配当金は、前期より1円増配し、1株当たり9円とさせていただきます。

当社は、事業の成長・拡大及び財務基盤の安定化による企業価値の向上と、株主様への直接的な利益還元である配当の安定的な実施に重点を置き、利益配分につきましては、今後の成長・拡大に備えた内部留保の充実を考慮して決定することを株主還元の基本方針としております。

当期の期末配当金は、上記の基本方針に基づき、前期より1円増配し1株当たり9円とさせていただきます。次期(第92期)の期末配当は1株当たり9円を予想しておりますが、平成29年10月1日付で行う株式併合の効力発生後においては、5株を1株とする併合割合を勘案し、1株当たり45円とさせていただく予定です。

1株当たり配当金 (単位:円)



※ 第89期には創立85周年記念配当(1株当たり2円)を含んでおります。
 ※ 第92期の期末配当金は株式併合の効力発生後においては1株当たり45円の予想となります。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	毎年6月開催	
基準日	定時株主総会の議決権	毎年3月31日
		毎年3月31日
	配当金受領株主確定日	なお中間配当を実施する場合の株主確定日は毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社	
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)	
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社	
同連絡先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (通話料無料)	
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部	
公告方法	電子公告により行います。 (当社ホームページ) http://www.ichiken.co.jp 但し、事故その他やむを得ない事由により電子公告による ことができないときは、日本経済新聞に掲載して行います。	

お知らせ

▶株主に関する住所変更等のお申出先について

1. 証券会社の口座に株式をお持ちの株主様

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

2. 特別口座に株式をお持ちの株主様

特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

▶未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申出ください。

<http://www.ichiken.co.jp>

当社ホームページでは、ニュースリリースをはじめ、詳しい
事業案内やIR情報など充実した情報を適時掲載しています。

株式併合および単元株式数の変更についてのご案内

当社は、平成29年10月1日をもって、

1. 当社の普通株式5株を1株に併合いたします。
(株式併合)
2. 単元株式数を1,000株から100株に変更いたします。
(単元株式数の変更)

●所有株式数について

株主様の株式併合後のご所有株式数は、平成29年9月30日の最終の株主名簿に記載または記録された株式数に5分の1を乗じた株式数(1株未満の端数が生じる場合はこれを切り捨てます。)となります。

●株式併合による影響

株式併合により、株主様のご所有株式数は併合前の5分の1となりますが、当社の発行済株式総数も同じく5分の1となり、また株式併合の前後で会社の資産や資本は変わりませんので、株式市況の変動など他の要因を除けば、株主様のご所有の当社株式の資産価値に変動はございません。

●配当金への影響

株式併合の効力発生後においては、併合割合を勘案して1株当たりの配当金を設定させていただく予定ですので、業績変動等の要因を別にすれば、株式併合を理由として株主様の受取配当金の総額が変動することはございません。但し、株式併合により生じた端数株式につきましては、当該端数株式に係る配当は生じません。

●1株未満の端数が生じる場合の処理

株式併合の結果、1株に満たない端数が生じた場合には、会社法の定めに基づき、全ての端数株式を当社が一括して処分し、その処分代金を端数が生じた株主様に対して、端数の割合に応じて交付いたします。

●スケジュール

平成29年9月26日 1,000株単位での売買最終日
平成29年9月27日 100株単位での売買開始日
平成29年10月1日 株式併合および単元株式数の変更の効力発生日



株式会社 イチケン

〒105-0023 東京都港区芝浦一丁目1番1号 浜松町ビルディング
電話(03)5931-5610 (9:00~18:00、土・日・祝日・年末年始を除く)

